

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 財務部 部長

(氏名) 荒木 幹治

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 059-340-0802
平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	17,578	△1.7	891	91.2	961	73.6	531	172.8
21年3月期第2四半期	17,887	—	466	—	553	—	194	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	26.09	—
21年3月期第2四半期	9.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	34,795	27,067	75.8	1,305.83
21年3月期	34,507	26,760	75.7	1,266.84

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 26,375百万円 21年3月期 26,106百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年3月期	—	8.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	1.7	1,500	28.2	1,500	64.3	750	212.5	37.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 23,513,701株 | 21年3月期 | 23,513,701株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 3,315,568株 | 21年3月期 | 2,905,899株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 20,388,279株 | 21年3月期第2四半期 | 20,995,216株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府から景気底打ちが宣言され一部に持ち直しの動きがみられるものの、雇用悪化には歯止めがかかっていないなど、依然として予断を許さない状況となりました。

食品業界におきましても、消費者の生活防衛意識の高まりから、買い控えや低価格品へのシフトといった節約志向が顕著になったことに加え、昨年来の原材料価格の変動は今期に入っても落ち着きを見せておらず厳しい事業環境となりました。

このような環境の中で、当社グループは対処すべき課題として、①市場変化への対応、②販売の強化（グローバル化）、③品質管理体制の維持・強化、④環境への取り組み、⑤人材育成、⑥業務改善による全体最適化を掲げ、企業価値向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は175億78百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

一方、営業利益は原材料価格の低減とコストダウンの推進、販売価格の見直しによる適正化の推進等により8億91百万円（前年同四半期比91.2%増）、経常利益は為替相場の変動により為替差益が発生したこと等により9億61百万円（前年同四半期比73.6%増）、四半期純利益は5億31百万円（前年同四半期比172.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における事業の部門別の概況は次のとおりであります。

①ニュートリション事業部門

緑茶抽出物は、国内市場でのサプリメント市場が低迷したことや、米国市場でのサプリメント製品の拡販企画が不況の煽りを受けて遅延したことなどにより、売上高は減少いたしました。

機能性アミノ酸（テアニン）は、国内市場での飲料用途が低調な動きとなりましたが、米国市場での飲料用途が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

水溶性食物繊維は、国内市場の医療・健康食品用途で伸張いたしました。米国市場でのサプリメント用途が低調な動きとなり、売上高は減少いたしました。

ミネラル素材は、乳製品用途や健康食品用途への採用もあり堅調な動きとなりました。

この結果、売上高は27億15百万円と前年同四半期比0.1%の減少となりました。

②インターフェイスソリューション事業部門

乳化剤は、化粧品・トイレタリー用途及び油脂用等の一般食品用途共に堅調に推移いたしました。

飲料向け乳化剤はやや低調な動きとなりましたが、乳化安定剤、乳化食品は堅調に推移いたしました。

増粘安定剤は冷菓用途、高齢者食品用途がやや低調な動きとなりましたが、デザート用途、惣菜用途が好調で、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は62億60百万円と前年同四半期比3.3%の増加となりました。

③アグリフード事業部門

鶏卵加工品は、粉末卵や酵素処理卵は堅調に推移しましたが、国内卵価相場の影響もあり売上高は減少いたしました。

フルーツ加工品は、ヨーグルト用途は減少しましたが、アイスクリーム用途が好調に推移し売上高は増加いたしました。

蛋白加工品は、海外向けが低調に推移し売上高は減少いたしました。

さつまいも加工品は、製パン分野での販売が低調で売上高は減少いたしました。

凍結濃縮品は、一部製品の終売により売上高は減少いたしました。

即席食品用素材は、消費者の買い控え等の影響があったものの堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は85億53百万円と前年同四半期比5.5%の減少となりました。

④その他部門

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は48百万円と前年同四半期比9.2%の減少となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して2億88百万円増加して、347億95百万円となりました。主な資産の変動は、現金及び預金の増加1億43百万円、受取手形及び売掛金の増加5億6百万円、投資有価証券の増加1億95百万円、商品及び製品の減少3億41百万円、有形固定資産の減少2億29百万円です。

また、負債は前連結会計年度末に比較して18百万円減少して77億28百万円となりました。主な負債の変動は、未払法人税等の増加1億4百万円、支払手形及び買掛金の減少1億27百万円、長期借入金の減少1億42百万円です。

また、純資産は前連結会計年度末に比較して3億6百万円増加して270億67百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.7%から75.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億43百万円増加し、18億75百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により10億64百万円の資金を獲得いたしました。その主な理由は、税金等調整前四半期純利益が9億37百万円、減価償却費計上による自己金融効果5億29百万円、たな卸資産の減少による4億58百万円等の資金の増加がありました。資金の減少については、売上債権の増加による4億67百万円、仕入債務の減少による1億71百万円、法人税等の支払2億21百万円等があげられます。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により1億83百万円の資金が減少いたしました。その主な理由は、定期預金の払戻による収入10億26百万円等があったものの、有形固定資産の取得による支出が1億74百万円、定期預金の預入による支出が10億25百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により7億47百万円の資金が減少いたしました。その主な理由は、短期借入れによる資金の増加が34億83百万円あったものの、短期借入金の返済による支出35億55百万円、長期借入金の返済による支出1億59百万円、自己株式の取得による支出3億25百万円、配当金の支払1億64百万円等の資金の減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において、平成21年5月11日の決算発表時の業績予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、平成21年4月20日付で、株式会社ジャンアヴィスジャポンは、株式会社タイヨーラボに社名変更をいたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,918,947	1,775,285
受取手形及び売掛金	8,942,003	8,435,196
商品及び製品	3,251,914	3,593,726
仕掛品	482,525	501,770
原材料及び貯蔵品	2,642,800	2,663,500
その他	629,588	541,853
貸倒引当金	△86,688	△76,988
流動資産合計	17,781,091	17,434,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,791,316	5,902,596
土地	5,941,352	5,939,905
その他（純額）	2,806,150	2,925,506
有形固定資産合計	14,538,819	14,768,008
無形固定資産		
のれん	154,595	162,627
その他	399,718	396,245
無形固定資産合計	554,313	558,873
投資その他の資産		
投資有価証券	1,635,442	1,440,051
その他	314,077	333,465
貸倒引当金	△27,950	△27,325
投資その他の資産合計	1,921,570	1,746,191
固定資産合計	17,014,703	17,073,073
資産合計	34,795,794	34,507,417

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,656,871	3,784,189
短期借入金	1,436,602	1,480,796
未払法人税等	313,485	208,855
賞与引当金	286,337	214,143
その他	734,197	748,420
流動負債合計	6,427,495	6,436,406
固定負債		
長期借入金	213,140	356,110
退職給付引当金	506,145	490,208
役員退職慰労引当金	311,780	293,070
その他	270,025	171,233
固定負債合計	1,301,092	1,310,622
負債合計	7,728,587	7,747,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,729	7,918,729
利益剰余金	13,681,152	13,314,249
自己株式	△3,055,121	△2,730,090
株主資本合計	26,275,382	26,233,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	231,521	134,911
繰延ヘッジ損益	△69,468	△91,827
為替換算調整勘定	△62,189	△169,847
評価・換算差額等合計	99,863	△126,762
少数株主持分	691,961	653,640
純資産合計	27,067,207	26,760,388
負債純資産合計	34,795,794	34,507,417

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日)
売上高	17,887,370	17,578,353
売上原価	14,667,972	13,988,293
売上総利益	3,219,398	3,590,060
販売費及び一般管理費	2,753,119	2,698,303
営業利益	466,279	891,757
営業外収益		
受取利息	18,832	9,145
受取配当金	38,778	19,757
持分法による投資利益	71,686	10,965
その他	106,211	109,080
営業外収益合計	235,508	148,948
営業外費用		
支払利息	74,183	54,120
その他	73,688	25,069
営業外費用合計	147,872	79,189
経常利益	553,915	961,515
特別利益		
前期損益修正益	17,595	—
固定資産売却益	26,568	—
その他	1,000	—
特別利益合計	45,164	—
特別損失		
前期損益修正損	—	6,775
固定資産除売却損	—	13,955
たな卸資産評価損	142,361	—
その他	35,756	3,209
特別損失合計	178,117	23,940
税金等調整前四半期純利益	420,961	937,575
法人税等	174,583	364,884
少数株主利益	51,403	40,850
四半期純利益	194,974	531,839

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	420,961	937,575
減価償却費	525,254	529,264
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22,860	8,866
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45,887	72,193
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	21,235	18,710
受取利息及び受取配当金	△57,610	△28,902
支払利息	74,183	54,120
為替差損益 (△は益)	6,000	△58,714
持分法による投資損益 (△は益)	△71,686	△10,965
有形固定資産売却損益 (△は益)	△26,568	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,200	1,638
売上債権の増減額 (△は増加)	△602,661	△467,187
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△724,370	458,623
仕入債務の増減額 (△は減少)	547,000	△171,176
その他	2,435	△37,236
小計	139,401	1,306,808
利息及び配当金の受取額	60,378	32,279
利息の支払額	△73,937	△53,888
法人税等の支払額	△178,014	△221,125
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,170	1,064,073
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△544,574	△1,025,732
定期預金の払戻による収入	145,366	1,026,509
有形固定資産の取得による支出	△280,300	△174,838
有形固定資産の売却による収入	56,423	14
投資有価証券の取得による支出	△14,356	△9,847
投資有価証券の売却による収入	500,000	—
無形固定資産の取得による支出	△5,117	—
その他	2,313	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,246	△183,894
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,548,500	3,483,820
短期借入金の返済による支出	△1,069,576	△3,555,360
長期借入金の返済による支出	△156,944	△159,268
自己株式の取得による支出	△48,779	△325,030
自己株式の売却による収入	65	—
配当金の支払額	△168,291	△164,937
少数株主への配当金の支払額	—	△26,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,974	△747,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,534	10,508
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△108,977	143,095
現金及び現金同等物の期首残高	1,977,951	1,732,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,868,973	1,875,152

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30日)及び当第 2 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30日)

当社企業グループの事業は、「食品関連事業」並びにこれらの付帯業務の単一事業となっております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,876,087	213,405	797,877	17,887,370	—	17,887,370
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	718,556	1,151,467	—	1,870,023	(1,870,023)	—
計	17,594,643	1,364,873	797,877	19,757,394	(1,870,023)	17,887,370
営業利益又は営業損失(△)	466,059	△33,322	15,445	448,181	18,097	466,279

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,240,498	488,089	849,766	17,578,353	—	17,578,353
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	333,066	786,178	—	1,119,245	(1,119,245)	—
計	16,573,565	1,274,267	849,766	18,697,599	(1,119,245)	17,578,353
営業利益	825,450	5,143	2,891	833,485	58,272	891,757

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
アジア …………… 韓国、中国、インド

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	米州	欧州	計
I 海外売上高(千円)	575,387	803,587	529,785	1,908,759
II 連結売上高(千円)				17,887,370
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	3.2	4.5	3.0	10.7

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	米州	欧州	計
I 海外売上高(千円)	775,377	849,766	448,795	2,073,939
II 連結売上高(千円)				17,578,353
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.4	4.8	2.6	11.8

(注) 1 国又は地域の区分方法

地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア：韓国、台湾、中国等

米 州：アメリカ、カナダ、ブラジル等

欧 州：ドイツ、スイス、イタリア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。